

張志

与

愛知郡
神社
寺院

第五門

備品	調製	國費
所付	年月日	第
	昭和	一
	年	八
	月	
	日	號

294
7
1-23/24



夔州縣
史編纂
之印

文書課 氏寄贈



尾張志卷之二十三

明治十九年八月點查



A294

7

1-23/24

深田增藏正韶謹撰
植松庄左衛門茂岳謹校
中尾八郎右衛門義稻謹輯
岡田六兵衛 啓謹輯

愛智郡

神社下

山神社

川名村川系神社より東南方より大山
祇神とありとあり

若宮八幡社

同村川系神社より西南方より

仁徳天皇とありとあり

白山社

石佛村より菊理媛神とあり境内より
観音堂及石地蔵あり堂内小長五尺餘石

像千手観音を安置しここは此村名と石佛

とあり本基より候より寺ありと慈雲山善

昌寺とありとありとあり伽藍霊場あり

とあり此寺の放火よりありとあり唯

とあり礎の巨石或は布目古尾とありの境地より

教をたるとありとあり天正二年甲戌冬よりあり

大慶造營のよりありとありけり大石とあり運

とあり中より一巨石の地より生るとあり

あやゆむしし結ぶもろく動ふれ石工鏈
さひて撃つる石より老を放ち忽ち
目くらみ問絶して倒ゆ有日等とて
視る者ゆら怯て石霊れ志とてか
石工茫然とて家へ入る遂に判後
慈雲と名つき此を以石佛とて側
を明暮おころひとて年とてあまに
を迎の村民未集て法形を測る路
室験

さかづりといへ寺の縁起よ
古に故縁あり津能石とて
く靈異の巖あり多く古社地あり
彫りもや後めり

児チコ社 山神社

目村よりあり

神明社

丸山村よりあり

天照大御神とあり、境内、東行、八幡社春日社あり、社人水野清膳

山神社

日村あり

八幡社

伊勢村あり

應神天皇とあり、嘉吉元年、南紀と伊勢村より、社説あり

さくハ其地址の跡あり、け杖、陶器、柏犬あり、下裏、流、底、永、廿五、戌、戌、歳、十一月朔日、熊野、願、主、淨、蓮、あり、境内、末社、白山社、熊野、社あり、社人坂尾右近

八幡社

末森村あり

應神天皇とあり、南村の本居神とあり、永禄年中、小、天野伊豆守重次、修造とあり、心あり

此事と府志より多くて
白山社の條より多し

社人松永東太夫

白山社

同村八幡社より未申方古城址より属して

り菊理媛命と祀る事社創建の形より

當城主織田勘十郎後武藏守 信行より信勝より天

文廿二年癸巳五月三日に勧修りけり

八幡社人松永政陳子孫より事社清正體法

古臺坐一枚アキダイザヒトヒラり其裏書小勧修り年月

日及執事、姓名等々アキダイザヒトヒラり文句哉

古城部より出せりアキダイザヒトヒラ併アキダイザヒトヒラり此御正體ハ往

年盗人ぬらみアキダイザヒトヒラり持去りアキダイザヒトヒラり

因に云尾濃 業栗見聞集

と云ふ所の天文の諸国一統に神跡と盗りり社
頭と法衣より流りり濃州徳田に
八幡の神跡と河島へ盗りり鎮座り今も徳田
八幡よりみぎり徳田村人八幡宮と奉祀り四方
を身て去れり河島の内り薬師の像と盗りり
堂と建て今も至徳田氏神の境地より又丹羽郡
佐野町屋村の八幡社ハ古靈流りり此の神
跡と信州善光寺沙汰へ盗りり今も西屋八幡と
云ふ宮ありり

け社の盗人もかゝ類りりありけり

浅間社

目村八幡社より東方よりあり 木花開耶姫コノハナサケヤヒメ命

と申す

一御前社イチノゴセン

目村八幡社より東南方よりあり 宗林と

申す

山神社

目村八幡社より南方よりあり 宇賀神と

申す

貴布祢社キフネ

下社シモヤシロ村よりあり 高麗神タカマリノカミと申す 高麗村の本居

神と

富士社

目村貴布祢社より辰方よりあり 木花開耶

姫神と申す

山神社

目村考布祓社より成方よりオホヤマ大山祇命

山神社

目村考布祓社より未方より系神より

目

山王社

上社村カミヤシロより

貴船社 山神社

並目村ミナより

貴船社 山神社 富士社

一色村より

神明社

糍子石村シロコシより

天照大御神豊受大神より境内に鉄
神社より高村に本居社より

八劔社

日村より日本武尊を祭仰るる地
に観音堂一宇あり十一面観世音と安産
此社地を蓬萊洞といひ観音堂を蓬萊山
といふ堂内慶長年中書繪馬
といふの二枚あり又此社を天文年間此
鐘盤慶長中の法圓僧あり修驗密嚴院
山神社

山神社

日村よりけ地名を東照といふ

山神社

日村神明社より東方より

神明相殿社

藤森村より國常立尊菊理媛命を祀
し之を白山社と永享元年創建のより府
志よりして神明相殿といふに舊
け地白山神のよりと府志撰述以後今
の相殿といふに社説より上古に今

の社地より二十間ぐらゝ西方より低地ヒキトコあり

—とのらぬをくまらうつ—とていふを年月

とていふをくまらうつ其旧址より古松枯朽してたそり

其處をオネラ又ワネラ或はウニラ又ワニラな

とていふをくまらうつ小坂をわたりて南方に古の跡

も流るといへたる地は杉枯木跡とありたり

田地の字と杉サキマ若くは社流とていふ境

の末社小猿ササゲ授社あり

こゝに尾張志編撰の事あり
して去天保七年四月己辰村

いづつて當社の事蹟を問わさるるに—のり當社の社人春日
井郡新居村谷口久米足和示良神社考と表出さるるものと相違
てつるを—其文も—延喜神名式尾張國山田郡の部

和示良神社あり其ハ今もてハ何處の社も詳らざるに

己の仕奉る山田莊藤森村今、隸愛智郡の産土神の社神明白山相殿社に西より

低き地より杉の枯朽あり一本立ちと里信守祢良和示良宇尔良又於

祢良—といはれり先年夏のに雨路—といふに郷民等

を詳しして雨と傳新よりいふ—あり—とていふは

往昔の宮地あり—と後詳小今地遷—とあり—といはれり

其地より坂を直さるると下りて南の田れを小朽ら木一本あり郷民

老人のいけら此を己等り知さるるに—といふは杉木三本まぐあ

り—と一年の秋甚しき風吹く所地は皆倒まり—其中一本は日を

経て元のみまき今のか木は—といふは其本より小竹を—といふは茂

り其處を御手洗と傳り—その處乃南より田の字を杉前と

いへり—といはれり杉の枯木より—といふは—といふは己考あり

今の産土神の社に往昔の和示良神社あり—といふは他處ヒキトコより奉て

よりつりし御名は其跡地とのみおぼしき其と存し土俗和
尔良と記して和祿良宇祿良及於祿良とて呼傳しむるに
かの杉希つり地の西方に地藏堂とあり堂のちら小石と彫刻
まる地藏の像二軀より其を里俗夫婦地藏と云傳し可嘆し
やうし是は往昔の和尔良神社の相殿神國常立神の御像とあり
一うし又所謂本地堂とてわらわ今も此産土神の祭祀の
日毎月九日御前より彼地藏より御饗をゆい湯とて
とのわらわ此社とて所傳あり證據ありしむる不熟く考ふ
やうし此考記故縁ありげし聞えて此事ふ
やうしなばらまで熟く梅し和尔良といふ
語ハ舊日姓より出る神話の類少くしての
地名の例ははしむるに地名を考へてもおま

名ハ友小明のむ人む 辨たぐして 神明社

國常立神と云ふは中世以後のソナリてやまねは社説とて傳り
たうん本地堂とてありむるにわらわ此社を大社に
坐けむる裏へたむる
と傳しむるにけ社を村の氏神とて

富士社

同村氏神社よりおれ方あり

山神社

日村氏神社より南の方あり

天道社

日村氏神社より西の方あり

山神社

日村氏神社より辰己の方あり

明神社

長久子村よりあり

景行天皇よりあり社説より府志より
も然るるに古より此の地なるを
此の地なるを古より此の地なるを
此の地なるを古より此の地なるを

神明社右方より白山社とて三社あり

いそりよりて古より三社宮よりあり

当社承和四年法座より此の地なる

根神より此の地なるあり

大久もより此の地なるあり

遷より根カミ大クテコラギ
並長久子の地名に
以後又慶長九年甲

辰二月今此より遷座よりあり

此より長久太郎三社森のありあり

〜〜〜當社の彼コウロギ小わりりる時也きき
永享九年己八月藤原左近太郎家忠左衛門次
郎國守沙弥善洞左衛門太郎國色等修造
享祿三年寅六月沙弥慶祝齋藤平左衛門尉
同民部丞牧弥九郎等造言一弘治二年辰
二月毎藤源五郎永祿九年寅九月加茂太
郎右衛門修造等かの神名式よりいりる山
田郡和尔良神社と近世よりある社なり

いひゆる社説もあると徇行記にも載る
藤森村白山社もいひゆる社なり

青山助太夫

熊野社

日村より當社あり大久手より北社
池の邊よりと永祿九年九月今地へ遷る

金山社 山神社所

並日村より

富士社

月村先達島シニの地より

社人青山

重太夫

富士社

岩作村ヤサガより文禄年中に浅井助左衛門

創建より境内の末社小伊豆熊野

白山伊勢日吉鹿島三島箱根等の

神あり

山神社ニ

妻社ニ舊跡

八幡社

並月村より

八幡社

本比村より

仲哀天皇應神天皇神功皇后玉依姫命

とあり

山神社ニ

社ニ宮司社ニ慶址

並月村より

十二所社

菱野村より南社を村の氏神とす

白山社

同村氏神より北の方より

神明社

同村氏神より已の方より

山神社三所 辨才天社

並同村より

多度社

山口村より

神明社

同村小あり境内末社に鉄神社あり

八劔社廢址

同村弥勒ミロクより北より

富士社

同村富士フジ嶺カミより北より

山神社

同村神明洞より北より

山神社廢址所^三

並同村より

八幡社熊野社
相殿也山神社

並大草村より

神明社

^{キタク}北熊村より同地内、末社より八王子社八幡社

白山社見御前社より村の氏神より
社人 近藤久太夫

山神社

同村氏神より其れ方より

社宮司社廢址

同村氏神より戊の方より

多度社

^{マハク}前熊村より天津彦根尊とあり末社に

神明社山神社より、南社を村の氏神と云ふ
社人 須賀喜太夫

八劔社 山神社

並日村氏神より 東南の方より

諏訪社

日村氏神より 南の方より

天王社

日村より、天中山前熊寺社事と云ふ

白山社 神明社 山神社所三 富士社

辨才天社 稻荷社 文殊社

並藤島村より

白山社

本郷村より、菊理媛ミコトイサナミ伊弉册尊ミコトオホナミチ大己貴

余三座ミコトと云ふ、南社ハ本々 岩寄

茂島茂枝 日村の恵本居部より 追村云々

此古社より 古棟れより 甚古きハ文字消く

清和の御代に於て一枚

大工小嶋弥左右門

奉造立當庄守護所本願敬白

干時 文永十一年 甲戌九月十八日

又一枚小

大工藤原小番大妻宗次

尾碓山田庄八事北迫岩崎郷願主敬子キハナシ

癸巳九月六日

しあつて年號の文字消たつこのれハ文永の

より今サ一表ののり居申ふつきて癸

己しあつて干支をとりて文永以前を推ハ天福元

年より當りり又其以前に癸己より時ハ

高倉天皇の承安三年より山田庄号及八事

北迫キタハセより名目のやまきと申ふへハ八事北

迫より承安三年に段後引舟中も見え

るより大永三年九月十日丹羽若狭守氏清

より祭祀を終せしむるより今も是

四村の里俗サトノ祭事をつとむるにたえんお承
し境内の末社小神明社稻荷社秋葉社香
良洲社あり社人小塚甚太夫

別山社

日村白山社より西の方カタマツチ荒土よりふ地あり
伊井丹尊をまつり

山神社所三

日村のくら本ホシデン田イサカ稻場カシノキ檀木よりふ地あり

神明社 白山社 辨才天社 山神社所四

八幡社 天王社所二

並岩崎村よりあり

浅間社

藤枝村よりあり

山神社

日村平ヒラ子コよりふ地あり

日割社

同村より

神明社

米野木村小あり境内小鋤神社ありと云ふ
村氏神と云ふ

春日社 八幡社

同村直會ナホラヒより地より

山神社所三 社宮司社

同村より

神明

八幡春日社 相殿

野方村カタ小あり當社と村に氏神と云ふ

稻荷社 山神社 天神社

並同村より

八劔社 山神社所二

浅田村より

天地社

赤池村より府志小祭神不詳明應七年

戊戌建之^二あり境内^一の^二鋏神社あり

日村より

八幡八劔神社相殿

梅森村より^二と^一村の木居神あり

富士社 山神社^二

日村より

八幡社 山神社^四 神明社 白山社

日村より

八幡社

植田村より^二天正八年室賀久夫修造^一

け村の木居神あり 社人 磯村木三太夫

神明社 山神社^二

日村より

一 御前社

八事村より^二系神^一詳々^二と^一

甲 天文十五年 以存の棟札あり 境内の末社

八幡 天神 相殿社 山神社あり 修験 金剛院

八幡社

同村音聞山の麓あり 神功皇后應神天皇玉

依姫三座とあり 社人 富田式部

高峯社

同村あり 祭祓 洋あり

富士社

同村音聞山あり 修験 珠寶院

白山社 山神社三所

同村あり

熊野社

島田村あり 熊野クヌネ 椽樟クサ 日傘ヒノミカド 車クルマ 解トキ 之男ノヲ

神速カミ 玉ハヤタマ 之男神ノヲノカミ 三座あり 同村上郷

下郷に本居あり 境内に末社 秋葉社あり

神明社

同村よりありて支村池場島より北の氏神
あり境内に秋葉社あり

天神社

同村神明社より南方あり少彦名命スクナヒコナノミコトとま

つるつる

若宮八幡社

同村よりあり

仁徳天皇とあり

山神社所三

同村よりあり

八幡社

中根村平野より北あり

白山社 八幡社 山神社所二

同村よりあり

八劍社

野並村よりあり南に村の氏神と境内の

末社に六所社秋葉社あり
神明社

同村八剣社より北方にあり
山神社

同村よりあり

田神社

同村民神より南方にあり

八幡社 山神社

平針村よりあり

八幡社 天道社 山神社 稻荷社

折戸村よりあり

春日社

和合村よりあり

白山社

同村大日飯より北にあり

神明社

目村稻系山の山の山の山の

山神社

目村神ノ之本ノ之ノ之ノ之ノ

白鳥社

諸輪村より日本武尊とあり。当社より文

龜元年八月拜殿造立の棟札あり。又熊野

社八幡社と東社とあり。社人大原七郎大夫

一御前社 白山社 八王子社 山神社五所

並目村より

春日社

傍示木村より境内に神明社愛宕社あり

神明社の梁ムナシ牌ダ小

奉造立御社一字應永廿八年辛極月十九日 敬白

大願主沙門省賢

大工又六

よりあり。当社と此村の氏祇あり

山神社

同村氏神より西の方より

熊野社

同村氏神より東の方より

山神社

同村氏神より南の方より

知立社 秋葉社

同村氏神より

浅間社

祐福寺村より此を以本居神より

境内の末社より神明社熊野社伊豆社白山社

日吉社鹿嶋社三嶋社箱根社よりコノホカ自餘山

此輩より大日不動薬師文殊秋葉より

府志に祭祀毎歳五月廿八日祐福寺僧會之

誦大般若經より

天王社 神明社 八王子社 辨才天社

天神社 山神社所

並目村あり

春日社 八劔社 二社
目地

部田村あり 堺内れ末社に秋葉社金毘

羅社あり

多賀社 社宮司社 山神社

並目村あり

諏訪社

皆掛村本郷あり 境内の末社に天王社

天神社あり 此の当村の本居神あり 当社御正

體沙管小裏書あり 其文小

大願主藤氏義行息安徳增長福壽

子孫繁昌千旨万祥皆令満足

諏訪上御宮 敬白

太歳乙應永三十二年十二月廿六日

やあり又神鏡一面あり 鏡裏に藤系金蓋

記あり 社人 磯部志摩

鹿島社

同村宿^{ニヤ}〜地^{ニヤ}あり

神明社

同村西川〜地あり

八幡社

同村徳^{トク}田^タ〜地あり

住吉社

同村上高根〜地あり

一御前社

同村下言根〜地あり 菟社境内

安産泉〜清水あり

白山社 天王社 神明社

同村中川〜地あり

八幡社

同村大久保^{オホクベ}〜地あり

明神社

日村中急トコあり
八幡社

日村高鴨トカあり

明神社

日村吉池ヨシあり

八龍社

日村川カハあり

若王子社 天白社 社宮司社 神明社

並日村上高根あり

辨才天社三所

日村あり

山神社十所

日村トコロあり

八幡社 神明社 山神社二所

並孫マゴ日村あり

諏訪社 熊野社 山神社

並相原村にあり

神明社

平手新田にあり

神明社

五軒屋新田にあり 境内の末社に山神社

天王社にあり

山神社

日村三谷にあり

八幡社

鳴海村にあり

應神天皇を祀り創建年月詳ならず古神

領あり今も祀る弘治天正を以て終社

小成海神社と稱し此社号も祀るあり

社にあり 神主

久野陸奥守

神明社

同村より 社人 菊田数馬
諏訪社

同村より 境内より 下諏訪社あり

白山社

同村より 菊理比賣命と祀る

天神社

同村より 祭神成海神社 同村より 朱雀

元年 延慶のころ 社説より

神明社

同村より

山王社

同村より 大山咋神と云ふより 境内

天白社あり

山神社所

並同村より

天王社 雷神社 浅間社 秋葉社

並目村より

八幡社 神明社二

目村古コ鳴ナル河カより

天神社

目村細根山寂照菴境内より末社より任吉

稻荷イナリより

三所社

戸部トベ下シタ新田より伊勢大神熱田大神

目村より高畑分の氏祿より 社人

古川左膳

八幡社

中嶋村より

八幡社

栄村サカより 社人 古川式部助

天地神社

目村より伊勢諾尊より境内に

六所社

稻荷社あり

是は文化四年卯上月山城岡伏見、
稻荷神靈とありてあり也

日村あり是は二境内に神明八幡白山

社宮司金毘羅 役エラツス小角像に六區ありを總スり

社あり

天王社

日村あり境内に神明社あり

神明社

戸部天王あり

秋葉社

日新あり

稻荷社

忠治新田あり

神明社 天王社 稻荷社

並道徳新田あり

八幡社 神明相殿
熱田

岩林寺新田より

八幡社

平野村より

神明社二所

牧野村より

八幡社

中野高畑村より 中野谷の氏神なり

水野社

押切村より

白山社

日比津村より 尚社を村の本居神とす

元禄三年以後の梁牌十二枚あり 社人小出内記

天神社

岡村より 府志當社條に本國帳從三位

土江天神ミナモト恐是ウツハ今社地荒廢不知其傳措哉

新息ニギハヤヒ河原まことし 約るこやうり ことしより

土江天神とあるたゞ一本の國帳の
貞治の熱田本元亀の國衙本より入江
天神とありて土江天神と名目あり
土江天神のあり古本より同郡小泥江縣天神
とも載るれど入江天神とありて土江と
入江と名ありれど今日化よりて泥江縣
と土江と同社混合するやもあれ元本別
地矣トコトコト神ありとのありき由縁ユエあり此日比

付より村名の迫せの訛アヤコをりて泥津ニヂツ

日比付村常徳寺古菴書意永八年の書あり小愛智郡
泥津長秋山常徳寺建立之書ありとありと近年已此寺に

て見ヒヂヤソノ語コトをかくあるもなるハ万葉集に

比治奇乃奈太ヒヂギキノナタとありと今あるきの灘ナシと

同例ありとて此ヒヂヤソノことハ上古小愛智

海の入江の湿地ありて負る名ありとて明く指サシ

てありし地もや廢りしとあり今の廢井あり
日比付あり

まやみを泥江の口
われはかくし其コトの海より小高タカ駛シ土化チカを泥江

縣

國帳小從三位
江縣天神

今之廣井村

縣ハ上田の
公領官舎の在

今之廣井村これに代りかしてその地

智海に入江の形幣ハ古國の遺蹟ハ

古書に於て古傳説ハ古書と

考て抄に執田より小の舊後村廣井村あり

西の西と東の極と西南の方と海

東郡復津村は屋村の東と小方へ長

く直りて小東に極と此泥津西方に基目

寺村ありと記しや廣く流るる入江

ありと基目寺並津ありと阿波提浦と

いへるは九百五十年も以前仁和のころに

ありと記し上より國帳小

上並津村の傳記仁和三年
此村海濱あり

土江入江と社ありありハ元來二本ニヤ

古傳説ありありハ古事記と書紀と

縣の二神廣江泥津の二村に坐する所あり

ありと記し泥津と土江と社ありあり

と川原神社の川名に坐りて法園も澄
例あり府志に之を記しけり社地狭少なる
りて荒蕪し其址様を記するに
天神と稱す社名之に似たり
復して帳内神社の列に稱奉を記す
けり後識者の記すに候て之を諸
社乃至列す

八幡社 諏訪社

同村より

八幡社

大秋村より 坑田末社 秋葉社あり
社人増山右内

八幡社 春日神 相殿

上中村より 尚社と村の産土神と弘
治元乙卯年 太閤秀吉公造営し給ふに
けり村人より 尚社と村の産土神と弘

とどか及紀後清正主も又け郷産生人
天正十八年庚寅十二月朔日本教大
檀那より送るありつゝ長三戊戌年
清正主の母堂お殿と建てる。寛文二年壬寅
二月山上市正氏改修送る境日神明
社秋葉社との末社あり

神明社 舊址

日村八幡社より 東北の方より

八幡社

下中村より

日宮社 舊址

日村より 楠樹クスノキ一本たより

神明社

楢系地村より

天照大御神より 境内末社 八幡社
春日社あり これを村の産土神ウケスナと云

白山社 八幡社所^二 十二所社

同村氏神より卯の方より

毘沙門社 鎮守社

同村氏神より午の方より

神明社

同村小波^{ミナト}より西の方より境内の末社

八幡社春日社あり

大日社

同村より

大明神社

同村^{ミナト}東^{ミナト}宿^{ミナト}より西の方より此^コ宿^ノの氏神

神明社^右
八幡社^左

同村六石新田より

天王社

同村氏神より辰の方より

若宮八幡社 熊野社 金山社 社宮司社

辨才天社

並ミナ茶野村ノあり

神明社

小一名村ノあり 境内ノ権現社秋葉社あり

神明社

齋宮司シ社

森ツキ徳村ノあり

八劔社

五女子村ノあり

熊野社

白山社

二女子村ノあり

八幡社

四女子村ノあり

八幡社

九本中村ノあり

神明社

中中村ノあり

白山社 八幡社

俱^{トモニ}日村神明社同境内より

八幡社

牛立^{ウシダテ}村より

天王社

日村八幡社同境内より此二社村の氏神也

社人 菊田隼之丞

齋^{イハヒ}宮^{ミヤ}司^シ社

日村氏神より南の方より猿^{サル}田^タ彦^{ヒコ}神^ノ天^{アメノ}鈿^{ウツス}

女^メ命^{ノミコト}を多^{タカ}くしる

神明社 八劍社

中^{ナカ}野^ノ外^ノ新^{ニホ}田^ノより

八劍社

熱^{アツ}田^タ新^{ニホ}田^ノより文化十年酉八月勅^{ツケ}傳^{ツタ}へ

新^{ニホ}田^ノ一^{ヒト}番^{バン}別^{ワケ}の氏^{ウヂ}神^{ノカミ}より

神明社

日新より日神月神小日本武尊素盞
鳥尊と配享すことあり尚社と云は新田
岡後の最初と記述したることを云はるる四
五割の氏神なり

神明社

日新より是は尚社六七割の氏神なり

寶田社

日新よりこれ尚社八九割の氏神なり

八劔社

日新より境内末社より戸部天王社池鯉
鮒社あり其は當所十一番割の氏神なり

天王社

日新より尚社慶安四年より終て
記述すことあり尚社十四番割の氏神なり

神明社

日新より

天照大御神素盞烏尊日本武尊とよみ
之り六の苗所十七番別れ氏神なり

神明社

日新より

天照大御神國常立尊とよみより

安二年より一の苗所十八番別れ乃

氏神なり

神明社

日新より二の女番別れの氏神なり宝暦年

中ノ節伝き

神明社

日新より三の苗所三番別れの氏神なり

神明社

日新より四の苗所四番別れの氏神也

神明社

日新より

天照大御神 豊受大御神 ともつらふ
る 當社 同郡 廣井村 浅間社 境内より
りしと 安永八年 己亥九月 此處より
齋のあり 社 覆高八尺九寸 四面 石垣 高四尺
丈 四面 池 殿 宇 居 及 修造の棟 札も あり され
市所 三十一番 別 の 氏 神 あり
稻荷社 所 神明社 龍神社
並 熱田前 新田より

八劔社

上古山新田より

神明社

當知新田より

神明社

甚多浦後新田より

八劔社

神宮寺新田より

辨才天
水天宮 相殿

八 稻 荷 社 相 殿

寶 來 新 田 子 河 り

稻 荷 社

稻 富 新 田 子 河 り

淺 間 社

下 一 名 村 子 河 り

白 山 社

大 蟪 娘 村 子 河 り

神 明 社

中 須 村 子 河 り 境 内 淺 間 社 あり

齋 宮 神 社

同 村 上 之 切 子 河 り

高 野 宮 神 明 社

横 井 村 子 河 り 高 皇 産 靈 尊 子 河 り

創 建 年 月 未 詳 文 明 十 七 年

當 郡 下 一 色 城 主 前 田 子 十 郎 源 造 あり

近村よりすがるる神社あり毎歲正月十日
備_二稻束及_一鍬六口神人六負為_二田鉏祭_一謂_二之_一諸
頭_一府志よりす_一ぬ_一按_一此横井村あり_一
江古ハ伊勢神宮の伊比_一比_一一揚御厨_一
こ_一こ_一名_一と神鳳鈔玉葉鐔矢記等小
つ_一つ_一け_一の_一御名を御厨郷_一
と_一高田村高田村_一の_一
を長考安のころかけ_一の_一と_一

え_一横井_一の_一御厨
郷_一の_一存_一て_一の_一也
又_一伊勢田_一の_一神田五畝歩_一
除_一地_一の_一疑_一の_一と高
神_一伊勢大_一神_一の_一
皇産靈尊のよ_一の_一社_一を_一
と_一彼伊勢神宮_一坐_一高宮_一を_一
と_一高宮_一と_一書_一て_一タカノミヤと

稱すべしと野文字と添うかけらるるやあり
む此社号と府志に高野祠とありけると今此
處に改る高野宮神明社とありとあげらる
かると此社の由緒も問ひしむる時社家より
書て出せるよ高野宮とのありと村長の
出せるものよ高野宮神明社と記しとる基
よもかきつゝぬるふとていふるり野文字
直に高宮神明社と記すよかけ

れどみづより私せど姑舊に據り此社乃
正殿も千木鏝木ありと信いよあり神明つ
くくくく製造りよ神明と稱し御名を

村民の心よりとるを以て神明と稱奉
るは伊勢内外両宮大御神二神の内へ
添へて他社より決り稱する社号あり高宮ハ

神名式に伊勢國度會郡高宮大月次とあり
度會宮フタラヒノミヤ 豊受大神 外宮 の跡よおもだらるる別宮とて

豊受^{トヨケ}大御神の荒魂は坐^イこし倭姫命世記

式帳^{シキチヤウ}に宮号^{ミヤナウ}とあり

く貴^{タカシ}神宮^{カミミヤ}宮号^{ミヤナウ}に皆宣^{ミヤノノミツノリ}下^{シモ}に

本所^{ホンショ}に社号^{シャウ}とありて

社^{シャ}に多^{タカシ}味^{アジ}の^ノ據^{コト}に

よわ^{ヨワ}社人^{シャヒト} 二村齋宮^{ニムラサヤミヤ}

七社^{シチシャ}

岩塚村^{イワツカ}に

中^{ナカ}本^{ホン}社^{シャ}に

日本武尊^{ニッポンタケノミコ}右^{ミダリ}

宇相^{ウソウ}雙^{スウ}に

社^{シャ}に八^{ヤチ}劔^{ケン}高藏^{タカサウ}大福田^{オホフクダ}左^サ社^{シャ}に

日割^{ヒワキ}氷上^{ヒナガミ}二神^{ニカミ}

と相殿^{ソウテン}に源太夫^{ゲンタウ}神社^{シナ}に

境^{サカイ}内^{ウチ}に

十二^{ジュニ}年^{ネン}に

吉田^{ヨシダ}治郎^{チロウ}左衛門^{サエモン}守重^{モリヒゲ}社^{シャ}殿^{テン}を

修造^{シュゾウ}す

境内^{サカイノウチ}に

縦^{タテ}四尺^{シヨウ}横^{ヨコ}三尺^{サン}の

岸^キに

村名^{ムラナ}と

又本社^{マタホンシャ}に

西の方より社宮司社白山社熊野社東方に
大日社天神社若宮八幡社己方、辨才天社
等の末社あり是村の本居神あり社人

吉田求馬

八幡社

同村本居社より己の方よりあり末社富士社

白山社あり

八社社

同村氏神社より南の方よりあり末社、劔社
あり

神明社

同村氏社より末乃方よりあり

八劔社

同村氏社より東の方よりあり

天王社

同村氏社より辰の方よりあり

神明社

中田村よりあり 末社より白山社八幡社あり 尚
社より氏神あり

八王子社

日村氏社より 東の方よりあり

社宮司社

日村氏社より 東の方にあり

神明社

少出村よりあり

白山社

東起村よりあり

雨宮社

中郷村よりあり

天照大御神 高タカ麗カサミ神よりあり 境内

に末社より白山社富士社あり 尚社より四地別

所よりあり 遷坐の社よりあり 明より 旧社より

中田村北内よりあり 社人高羽主馬三助
風宮社

あり
同村雨宮社よりあり 戊亥方中島新田の北内よりあり

天照大御神ミナガト級長戸邊シナガ命級長津彦ヒコノ命とま
つゝゝゝゝゝ

社宮司社

同村雨宮社よりあり 東方テラ寺マヘ系よりあり

御山マミ戸社ドノ廢址

同村よりあり 境内古松三株あり

神明社

高畑村よりあり

神明社

荒子村よりあり 末社小鹿嶋社天王社あり

山王社 白山社 辨才天社

並同村よりあり

富士社

天満天神
相殿

同村中郷より西より

風宮社

同村宮窓より西より

神明社

中島新田より

神明社

同石畑田カタより西より 境口末社 春日社

八幡社あり

八剣社二所

同新より

日神社

八ッ屋村より

月神社

同村日神社の同境内より

稻荷社

小塚村より

神明社

万西村より 塙田小春日社 富士社あり

（こま）當所の氏非あり

白山社

同村氏神より 東の方にあり

神明社

八田^タ村より

天神社

カスモリ
鳥森村より

神明社

同村天神社より 東の方にあり

八幡社

同村天神社より 東北の方にあり

八劔社

三須賀村 彰成寺 境内より

白山社 淺間社 辨才天社

並同所あり

八劔社 熊野社 天神社

長良村あり

神明社

本郷村あり 本所小淺間社 白山社 天王社
社宮司社あり

小田切傳之丞忠近謹圖
小澤啟吉列根謹書

尾張志卷之二十四

深田增藏正韶謹撰

植松庄左衛門茂岳謹校

中尾八郎右衛門義稻謹輯

岡田六兵衛啓謹輯

愛智郡
寺院

天台宗

長圓寺

上中村カキナカ小ありて醫光山イノノの春日井郡野

田村密藏院ヒツツに属す創建年月未詳モトメズ古コハ

真言宗あり寛永十六年己卯八月南宗小

ありて本師佛と本尊あり境内小金毘

羅ハ石像イソウゾウ三十三所観音等あり

願成寺

高須賀村タカスガにありて高須賀山タカスガの野田に

密藏院ヒツツにあり天平四年行基ユキに開基す

大永年中に盛海上人中興ナカノありて古ハ

伽藍カランに靈場レイジョウありて中世ナカノ悉スベテ廢スレて今イマのこ

一堂イツドウ宇ウとありて堂中に朽敗クサイありて兩金剛像リウキョウゾウあり

て空海クウカイに比ヒしといひ傳ツタふ又僧圓空エンクウの彫刻エトありて柿

本人麻呂マロ像ゾウありて甚古シニコ雅ヤカありて寺領テラノリも若干ソコバクあり

りて織田信長オリダノブナガ公キミ收ウケてありて茶師チニシ

佛ブツを安置アンジありて又境内キリノに八ヤチ剣ケン白山シラヤマ淺間アサマ辨ハナ才サイ天

ふどりの社あり

観音寺

荒子村よりして静海山より野田に密蔵
院にあり天平元年自性上人の開基して
上古ハ七堂伽藍塔頭十二坊堂宇雙りり
郡中無双の靈場なりとも衰敗せしと永
祿の頃知音院法印全運これと再營中興
しとつたり寺領も三十餘町ありしが天正

年中檢地の時悉沒収せられたるもこれ
ども尾張四観音といふも其一道場に
て叅詣の人地寺より多く本堂恭澄和尚作の
観音と安曇人多寶塔護摩堂と二王
門あり是ハ僧圓空作なりと云ふ南寺は名
の在^ア地ハ言^カ畠村は北方八田村より一町づり
南^ナ方よりありを云ふ此字と本堂ともふ
これ荒子観
音の本堂址
村民といふ

又此本堂より地より

又此本堂より地より本所解より

大門と云ふ字ありこもも彼大門と云ふ
傳と云ふ寺に白木古位牌一基ありて表
小數人の法名と云ふ其臺坐裏書り過去帳
修補造之永祿八年乙十二月八日觀音寺願主
正清法印全運智音院引書之と云ふ

大聖寺

八事村にありて泰幸山と云ふ野田に密藏院
にあり創建は時代不知賢榮法印と云

祖と云ふと云ふ賢榮も天正に云ふ人ありと云
境内小十王堂あり

東福寺

菱野村にありて瑞雲山と云ふ野田に密
藏院に屬創建時代詳不知僧宥運と云
中興開基と云ふ茶師佛と安と云ふ

真言宗

神宮寺

沙室所村よりて醫王山より紀州高野
山蓮華谷誓願院より嘉吉元年小高野
城より佐久間義作守家勝創建のりて
これ八幡社に宮寺あり茶師佛と安坐
境内に庚申堂あり青面金剛及照侍二軀
木像あり

大喜寺

大表村より増益山より紀州高野山
弥勒院より創建年月志も大日如来
と本尊と云ふ府志も又有大喜宝殿熱田迄
拜所也往昔大内人来拜此地而今廢焉
ありと按小此村より熱田神官大喜氏五郎丸と
いふ者住居よりこゝりてありと云ふは彼家より
創建しりる大日堂ありとありと云ふ大喜也

いふは此地本居氏人より本姓と守部宿禰と

いふ 今大喜倫前守 清廷の家より さまは此村より出部と名字を

呼民家十餘人ありとみまけ同族ありと大

喜といふ家やけありとありと後熱田より移り

あり 神官れ内より今 尾張姓もあり 大喜が住へるありと村名

あり モト 此大喜といふ舊ハ大毛といふ和

名抄よりいふなり 四地あり大毛をタイケと創り

又ハタイギヤもいふと後 ヨキモシ 好字よりいふと喜文 キモ

字小代くしろのまのまの心非官宅址いんし今も様五
郎丸まる屋敷やしきとていふて南村に日坊山ひばりとていふ地
ありては界内かいうちの二十三所の観音及菩薩
寺如來にょらいとていふあり又什物小
宣揚院殿せんやういんより中津波の葵中津波の津戸
帳華鬘ちやうけ及中津波の挑灯てんとうとていふあり

海上寺

高田村よりありて龍王山とて紀州高野山弥

勒院りやくいんより寛永十六年再建さいけんとて享
保中より建改けんかいとていふも又破壊はくわいとていふにありて
天保六年てんぽうより造管ぞうくわんと僧誠音そうじやうおんと中興開基ちゆうきゅうかいき
こゝに寛永造立
の本形あり茶師佛ちやしにぶつと本尊ほんぞんとて弘法大
師の化
ふと靈驗りやうげんとていふに諸人しよじんおとて心形成院しんがたなりの
賽拜さいはいよりいふに栗栗と進供しんくわうとていふに栗栗薬師やくし
と信しんとていふに本尊ほんぞん秘侍ひしの十二神じふにしん將等しやうたうハ
俊慶しゆんけい比丘ひしよ実名
誠音不思議ふしぎ夢想むさうの靈告りやうこと感得かんとくと

きり古像あり一之り境内に白山八幡秋葉
合殿に社ありて鎮守、井ともふ

薬師寺

本願寺村よりて琉璃山より名古屋寶
生院よりあり創建年月記なく寛文年中
僧宥俊再建よりて中興開祖といふ某師
佛とありとて境内に二十ニ所、観音あり

笠覆寺

笠寺村よりありて天林山より名古屋宝生
院よりあり

聖武天皇大御代天平八丙子年善光上人開
基より十一面観音像を安置し小松寺より

此佛像は其に呼後浦に浮たしりてよき
光と放つ青木よりと善光上人の彫刻也 其後河原より

此年月を經て堂舎破壊し其後中ノ稻佛
像に雨漏りたれ立たまへて鳴海長者
太郎成高が家女にたれ多し宿りて

ぬぎて此佛よきせし月りぬ 笠寺に名 け家女
後小藤原兼平朝臣ふりて統一因にふりて
延長八庚寅年小に於於堂舎を興復造立
——田畠數百町と寄附ありて笠覆
寺とふりて海に荒廢し及て——と
四條天皇に大御代嘉禎四年十二月僧阿願
解状を捧て

天聽よき——宣陽門院廳宣を賜て荒野

冬所餘水田若干町と寄附——本堂とて僧
坊十餘宇と造立再興せり 宣陽門院廳宣及
阿願解状正元元年八月廿日と出於同人自筆
寄進状建長七年乙卯十月七日出於阿願并領
主比丘尼念阿弥陀佛、文書目錄とて——の文永
應永永享文安寛正應仁文明長享延徳大永
天文元龜天正などの寄附状文書類多し

本堂 南面

大師堂 南面 藥師堂 西面

護摩堂 同 寶藏

辨才天堂 西面 二重塔

阿彌陀堂 地藏堂 南面

鎮守白山社 玉照姬仮堂

稻荷神 地藏堂側 二王門 西門

鐘樓堂 鐘製甚古くして龍虎獅子等此

形あり銘小尾張國星前笠覆寺 建長

三年^辛五月廿三日阿願花押あり塔頭ハ

十二院あり今ハ僅小六院存り

寺領高十五石あり是ハ長十四年己酉

三月伊奈備前守檢地比時定り

一石五斗づ六

院ハ能事ハ其六院存り

東光院 創建年月未詳天正五年

僧乘圓再建長久寺中興開祖ハ境内

に熊野社天神社

此天神以畫像の背書小迎
江國蒲生郡菅田神社神主

左近將監藤原安長曆應三年庚辰八月八日應永八
年辛巳八月十一日在大風懸高木枝不思議也為文證
記あり此像ハ文祿四年豊臣関白秀次公自害時其
縁坐よりして山口少雲誅より時被給一ッ番寺小形
好中ふあまゝと檢使の時見りたる小若中
のこぼをけ院のまかくいつきまのりなりと寺後
に
聖天堂をいもわり

泉増院

創建年月不知天文八己

亥年僧榮朝再管よりて榮朝と中興に
始祖と云

慈雲院

創建年月不知大永年中

に僧政覺再建よりて中興祖と云

西福院

創建時代詳不知天正八年

再建志主僧真空と中興祖と云

西方院

草創年月不知天正十年

小死よりて政空僧と中興祖と云

寶壽院

創建年月不知元和六年

僧政考中興此六院の事も天林と云

一 名古倉室生院にありて此竺覆寺
と尾張四觀寺と信よりいへる其一道
場とて東海道中此驛跡ありて流あり
道者いへるに昔は國人を殺めし事蹟あり
小多しと靈地ありたりと信あり今の地より
河とて六町あり南に方より四町あり又二町
はより南の方より池あり二王堂池とあり
今地より南にありていへるに昔は

常樂寺

中郷村にありて如意山といふ名古倉室生
院にあり恭澄大師開基とて信あり一山内
に六院ありて寺領も上畠二十四町あり
文和年中火災に罹りて山内悉焼亡せしが
のち六院に内三院に絶しとて二院の二あり
と信慶常志と起して本堂及二王門宝珠
院東藏院光明院と再建せしむるに明暦年

中に又焼亡して東院廢まると寛文六年に寶珠院覺道光明院日政二人心と共
おし力をあつて再營んむる

本堂 行基祀より茶師坐像の本佛と

安堂の境内に鎮守山王社あり

寶珠院 境内に不動堂あり

光明院 境内に秋葉社白山社あり

東福院

吟沙村よりして護國山より名古屋長久寺
にあり創建年月を知らず寛永の僧盛
辨再營し即中興に開祖と云

護摩堂 大日佛と安置し白山社辨才天
社稻荷社より境内より

興正寺

八事村より八事山遍照院より泉州大鳥
山神鳳寺より元禄元年戊辰

瑞龍院君こうまと創建し移へり弘法大師と
開祖と一一天瑞傍と中興祖と正堂方丈庫
裡護摩堂輪藏鐘樓旅僧寮或六郎堂
法守八幡社をあり山の頂上は銅像の大
日如来と安坐し本の長一丈二尺石坐
は南面は坐は石坐シモツカ下方五間は經石と
あり此嶺より眺めると系をわたりあり
像背銘に沙婆世界弟下南瞻部州大日本國

尾張愛智郡八事山遍照院興正寺本尊大日
如来大願主從二位權大納言光友朝臣維時元
祿十年丁丑孟夏大吉祥日當時中興末孫天瑞
圓照銘之をあり又標石二基あり一基は女人
禁制し四字を彫ハ一基は不許葷酒入界内
とし七字を刻し門内は不動石像あり制禁標
五輪塔ありありこれと東山あり又西山
あり地あり比丘隱退の地と普門寺あり

信ノ開山堂ノ観音堂ノ虚空藏堂ノ旅
僧寮月菴ノ鎮守辨才天社ノ此西
山ノ女人ノと評セる所系統れ人多く一寺領高
五十石あり是ハ元禄二年己丑月

瑞龍院君より賜ハふて清代かるり
寺寶小鑑真和尚加袈裟あり二ハ天和
二年八月十日大鳥山神鳳寺比丘元真より
天瑞律師へ附与ふる漢未央宮瓦硯返

瑪瑙石香盒袋二品

瑞龍院君の沙寄附あり浮牡丹香爐宝泉院殿

附沙寄顔輝画一幅あり法眼永真が極書あり源
書あり

天福寺

戸部村よりて海南山より名古長久寺に
属し慶長十一年
性高院君が創建し法印政鏡を開祖と

後モト舊ハ南不ナ一山ニ西方ニ花王院ト云
ありしを移して創建ありし地ハ字數
字頭より今不ナ南寺トハ名ナり
南不天王社宮寺別南ニ蔵ニあり

禪宗 臨濟派

長松寺

本中村よりありて慈峯山ト名古臣政考
寺に属スり慶長十乙巳年信宗僖創建ハ十一
面觀音と安置ス境内ニ茶師堂あり

凌雲寺

稻系北村よりありて集慶山ト京都妙心寺
に属スり永正年中ニ津田豊後守創建スり

僧南溟を岡祖とて天文五年丙申十月廿八日

豊後守平高寺に葬じ凌雲寺殿泰翁紹凌

凌公しやうこうの傳ついでるもの也 禅定門 家系及寺記に並居士とあり

豊後守及嫡男玄番元とて其の子孫歷代乃墓

所あり其後高織田信長公の伯父と坐ます

公幼稚の時高寺まてありて獨ひとりりて單ひと紙

掛松とて古樹本堂を庭とありて近年枯

たるとして今も旧々塔頭末寺も九坊ありて

寺領も百三十貫文塔頭末寺領七十貫文す

づゝ二百貫文ありて豊臣太閤の治代に収め

て置きたるなり寺記にみるなり 本堂小定朝

り此の觀音と安坐に此境の内に觀音堂鎮守

辨才天社とあり

泐潭寺

間米村よりして萬松山といふ京都妙心寺に

末より熱田大法寺に支配なりとて春日井

郡大寺根村より方便寺と云ふ廢寺ありしを寛
永廿癸未年再興して方圓寺と云ふなり
寛文七丁未年此村ふるして泐潭院と云ふ
しと延宝八庚申年寺号を改む本堂に木
佛坐像の十一面觀音と安置し境内に鎮守
堂もありて古松あり

觀音寺

上社村よりて萬松山と云ふ熱田海國寺小

所を建久年中小山田二郎重忠創建ありと
寺説しある其後破壊しるは長年
中より再建し僧南庵と中興祖といふ本堂
に木佛坐像に釋迦如來と安置し觀音堂
本号は山田左衛門の守本号なりといふ鎮守社
藥師堂あり

濟松寺

高針村よりて大龍山と云ふ名古屋總見寺

にあり創建時代よりとありて瑞松院と
いひ、享保年中に

瑞祥院女君にゆい諱と避て今、名を以て
と安き人

芳珠寺

古井村よりて金龍山より系於妙心寺
に属す、長羊中に信久岳創建に當時
も曹洞宗より同村光正院に属す、寶珠寺也

いへり、延享三年丙寅八月南宗より改て名
古屋中下海福寺に属す、彼寺六世僧珉嶺と中
興宗基よりて川村興在、寛門再營せり、同四年
丁卯正月寶字を更て芳字とて、同五年戊
辰六月妙心寺、末より客殿、小野朝臣篁の
作より地蔵像と安き人境内に不動堂とて、
三十三所、観音堂とてあり

安住寺

中島新田よりく一元山より不系於妙心寺
此末より室暦五年乙亥十一月知多郡須佐村
に長泉寺より不廢寺ありしと此處より再興
新造ししが名をく觀音堂一字境外し
あり

禪宗 曹洞派

龍興寺

沙室新村よりく瑞雲山より不春日井郡
大基村福嚴寺より創建年月詳し
天文年中不為所城主佐久間大膳造立此
寺説しより為寺より不龍興寺殿
半入玄心居士城主佐久間大學天文八己亥十一
月廿八日より釋迦佛を本尊として鎮守白山

社秋葉社あり

宗圓寺

同村あり瑞現山といふ所龍興寺あり
草創年月未詳といふ龍興寺、中四世僧日山
中興、同祖といふ十一面観音を本尊といふ法号
秋葉社あり

浄元寺

同村あり清澤山といふ所龍興寺あり

末あり永祿年中に創建するといふ法名
正體浄元といふ人を宗基といふ寺号小松
といふ也本堂木造に説きを安置し境内小
浜寺社あり、始塚といふ古墳、龜口井あり
是の古墳、山川部といふ所あり

久松寺

同村あり久松山といふ所龍興寺あり
同村あり久松山といふ所龍興寺あり

右馬の建立より龍興寺中人の傍虎岩和尚
と閑組より久松寺より阿弥
陀佛を本尊とし境内に法書白山春日八幡
相殿社より地蔵堂あり

盛屋寺

高田村より月桂山より法皇御村龍興
寺にあり草創年月志し龍興寺と申す
といふ境内に鎮守社茶師堂二十三所観音

あり

天聖寺

小井戸田村より亀嶽山より築田圓通
寺にあり創建年月志し本堂の外
観音堂一字境内より荒廢し観音
を客殿小安あり

長福寺

小井戸田村より喜寛山より築田圓通

寺に属し永正の比に創建して讚公和尚を
開基とすといふに亀嶽山といひて存小
今の号として運慶の比の正欽寺と安徳公
ころ糟谷藤太信重公の崇敬しけるに
いへり境内に天満天神社とて秋葉堂地蔵堂
後行者堂あり

龍泉寺

同村より西へ亀井山といふ築田圓通寺

属す曰く龍泉菴といひて後小令に号と
應仁元年に創建すといふに在右の南村小
薬師寺正眼菴福樂寺といふ寺ありしが
茶師寺と塔頭丑菴ありて龍泉菴龍雲菴
福傳菴妙喜菴藏傳菴といふに龍泉菴即
此寺といふ今の本号に即しその茶師寺也
といふに三ヶ寺及四菴並廢れて南寺は
存すなり此の彼三寺の田地に分け寺に押す

まゝ本堂系佛と安曇人

聖徳太子の作と云ふ 照侍

大日不動像あり

大日弘法大師不負行春の作佛と云ふ

境内に亀井

水あり 是山輝の記も巻也頼朝將軍に

浴湯あり 又阿弥陀堂觀

音堂 禪堂 庫堂 寺あり 妙音院 大政大臣師

長公社 大黒尊

龜井あり 寺あり 寺あり 寺あり

若宮社 藏書大般若經六百卷あり 尚寺あり

白毫寺

山崎村あり 眉間山あり 熱田園通寺に

属し 創建年曆あり 僧風岩と中興の

宗祖あり 風岩元和元年にみまあり 阿弥

陀佛を本尊とし 境内小秋系堂一宇あり

法泉寺

岡村あり 龍雲山あり 熱田園通寺あり

文禄元年僧元苗創建し坐像に薬師佛あり

本尊あり

黄龍寺

日村よりあり梅林山より熱田圓通寺末也創建
年月詳らざる文禄十四年よりありし僧
義光を中興同祖といふ正親世考を本号といふ
境内に天満天神社あり是ハ文禄元年熱田
誓願寺より遷座ありしなり

長樂寺

戸部村よりあり日惠山より熱田系通寺より

属す創坐年月さざらざる僧義山を同祖
とて坐像銅佛の大日と安置す

慈照寺

日村よりあり冥林山より熱田系通寺よりあり
創建年月さざらざる虚空藏菩薩を安置す

醫王寺

新屋敷村よりあり大雲山より熱田系通寺より
末より天正二戌年僧惠見より創建す即

同基の本佛、弟佛となるとの照侍

日光佛
月光佛

二軀木像境内、庚申堂法守堂あり

成道寺

同村よりして芳樹山より熱田系道寺に末

より天正二年僧春公宗基創建して釋迦佛

となるとの口の小旗守白山社あり境内より

石業佛あり尚寺これとなる

法藏寺

中根村よりして中根山より熱田系道寺より

より創建年月不明となるとの増大安公

開基となるとの天正十二年よりして釋迦

佛となるとの

太平寺

川名村よりして護邦山より法皇御村跡

寺より創建年月不明となるとの佐久間権平創建となる

となるとの釈迦佛となるとの境内より業佛堂及石

像に三十二所、観音堂あり

香積院

同村より西へ味岡山より武蔵国崎玉郡成
田村沓淵寺に末より貞享五年辰二月創建
石基より萬松寺寂元和尚より本尊より名倉
久倉妙味園次師九師法名自白より木佛坐
像に釈迦を本尊より僧堂衆寮あり

新豊寺

同村より西へ鳳凰山より遠江國城東郡
児隣村少林寺の末より寛延元年辰十月
創建より業師佛と本尊あり

善昌寺

石佛村より西へ慈雲山より遠江國
興寺より末より長十三年信濃宗創建即
岡祖より新迦佛と安置より白山社より觀
音堂石地蔵あり境内の東隣より観音

堂より石像は千手観音と安曇寺と一石像
村名は^{モト}本基也^ト白山社は^{モト}本^トなり
保元三年

地藏寺

島田村より古厩山より鳴河沼泉寺は
未だあり南寺は嘉吉二年壬戌二月新波中勢
大補家氏裔孫清澄式部太史源経國入道熊
山に創建より島田山廣徳院より延徳

三年八月水災に遭て堂舎もく破壊

より成明應九年正月鳴河瑞松寺後小沼泉寺と改む

六世秀建和尚再建して地藏寺と改号す

その後天正二年島田山を改めて古厩山と改む

より島田河原より北よりなりと享保九甲辰

年今地より河も定朝、此の阿弥陀佛と

なりと大地藏堂丈六坐像惠信僧師の作と

より鎮守社役行者堂よりなり

瑞泉寺

鳴河津よりわたり龍蟠山より能登國總持寺
より少く急永土年尚所根古屋城より安原
備中身源宗範創建し大徹禪師を同中
し宗範羅整して法名と瑞松居士とあり
寺号と瑞松寺とあり尚寺創建公承元
より尚所平於山より應仁文明のり兵火小
かりて伽藍同漏久文龜元年今祀よりあり

此地ハ往古鳴河長者奈高
成高宅址ありとあり

享保年中

瑞松院女君の法諱小幡よりありて避て今此
寺號より客殿本佛坐像に釈迦を安置し
迦葉阿難と招侍より殿内より達磨大権千手
観世音地藏等の木佛と安置せり境内に
經藏僧堂秋葉社鎮守詠詠社ありあり
校門より十六羅漢と安置し寺領は嘉慶二戊
年義満將軍殿足利より莊田廿四を納ひり

天正此の悉没収てささくを穿おる唐
画、星像二幅是ハ嘉慶二年辰春義満將軍
此の穿附りり唯朱香盤一面是ハ元和九年に
東照宮より拜領し龍骨色一箇をりり

如意寺

同所よりて頭護山より不瑞泉寺の末
より古鳴海に南の方より地蔵山より
此より創建年月詳なきをりり

一條天皇に大御代永延元丁亥年尾張守に
よりて本國に居揚へ藤系元命主に家臣為
家入道法名稱雲道開法師に創建するに其付
代に抄ひしりり地蔵に畧縁起紙
この府志に康平二年の創建と決りり其
據ものふりり
稱雲道開法師ハ康平二年庚子十月
朔日（由りり）中當寺に過去帳よりり
て年月の詳なきをりり
創建年月よりり

年と以て之を沙國中に寺説大概約りたる
類々々々訂正し取捨し記す此寺四地小
あり一は七堂伽藍に靈場とて六角二階の
殿閣ありて閣上は十八躰の地蔵と安坐して
縁侍し一は一室の表慶ふて一僅し
のこり一躰と長六尺三寸小
野堂の他と云今の十王堂の中を
とる寺記より又後古今集の鳴沙寺
とあり此寺を以てて一府志に記されり

此寺より古き寺はけ消えりけれを以て鳴沙
寺といふこととさるる一又地蔵菩薩二回
靈驗記七巻にけ地蔵のるる一は原元命に
事あり元命主を南國寺漢の
ナリに記す併して知る一本堂
如意輪觀世音を安坐して地蔵堂定期記の
一丈六尺坐像に地蔵菩薩を安坐してけ地蔵
尊の後内々行基作して長一尺四寸の地
蔵を刻す

是は縁起に十八新とて其一新にて
記すも眉間卷に記す又、の原原朝

巨元余の持佛堂の本号なりとも
いひ傳へありきし寺はしつてし け原頭護と山号
をいひ如意と寺号とありしも 寺はしつて元
多し又毎年正月廿四日佛像を射禮
式ありて天下恭平國土安令青鬼降伏
しつて十二字とありし村民蛤と拾て牲^{イニ}
けし事竟て後海濱に放つ例式ありし
しつて按小舊の故縁ありて神社に宮寺ありし
彼本化佛なりしと類ありけむしと神社の廢

て象式のり南寺に存するもやうにされ
山号も上古の青鬼山とありけりし也此四地
なる地是山とつて地とあらしとありしとありし
今の神明社とありしとありしとありしとありし
ある社に表とありしとありしとありしとありし
伊福神社とありしとありしとありしとありし
基は天也信系の説とありしとありしとありしとありし
とありしとありしとありしとありしとありしとありし
伊福神社はけり

かゝる明徳及考ありて別ありて十王堂
小野篁作ありて地蔵及十王と安んずる金毘羅
社法守社業社ありて境内あり

長翁寺

日下ありて白龍山といふ日所沼泉寺也
創建年月志ありて照惠禅師と同祖といふ
坐像釈迦佛と本尊といふ境内に薬師堂鎮
守秋葉社あり

光明寺

日所よりありて一國山といふ日所沼泉寺に
末より創建年月志ありて本寺九世剛菴
和尚の開基といふ縁の地蔵と本尊といふ
境内に金毘羅堂あり

聖應寺

沓掛村よりありて平野山といふ名古屋大光院
にありて創建年月志ありて久護山慶

昌寺よりひて臨濟派より一々寛永年中に
曹洞派より今れ山号寺号より本堂坐
像木佛に釈迦と安置と又織田信長と信
忠卿及梁田出羽守の位牌あり

長盛院

同村より久安山より同村聖應寺乃
末より寛永元甲子年創建大影より法名
と淨貞より南^{ツルカミ}附^{ツルカミ}今れ在り二十間

より東の方にありと貞享二年乙丑十
月今れ此より月と本堂坐像の茶師菩薩
と安置一日光月光佛と徳侍と

正覺寺

本化村より海雲山より海雲寺
より天文元年小剛菴和尚創建の客殿
銀母を本号と長徳長命水茶師如來
と安置と是の弘法大師の自像と最之と春

日作とて、松平秀雲の書に縁起ありと云
左の如く、是、近世のいふ如く、長命水の
の故縁と云ふ、いふに小奉り

海雲山正覺寺藥師如來縁起

大日本國尾州路年魚市郡星崎郷本地村
有一禪刹山名海雲寺名正覺堂安藥師如
來像是秘密宗祖弘法大師所雕刻也傳云
昔者大師在熱田宮證毘盧真印修瑜伽密
法是時刻藥師尊像以利益衆生也其後安

置于此地此地也土沃地高前則諸村櫛比
千頃稻梁滿地後則滄海淼漫萬里烟波涵
天松籟添梵唄音江月現光明相誠所謂出
塵絕境也應縁殊深濟度最新故遠近緇素
兒童奴隸亦無不知其靈驗也且其堂傍有
一井里老傳言往時一夜地裂忽生泉脉清
水湧出咸謂琉璃壺中甘露也一浴一飲者
宿病頓愈盲者得明聾者得聰瘡癩癰背

倭顛狂者悉無不治飲之者必得多壽故名
之曰長命水有一老尼曾住堂傍飲此水保
壽至一百三十六歲終身無疾病精神清爽
不異少壯其井至今有之世有岡田氏住
星寄城信仰此像修造當閣每歲正月朔旦
汲此水獻織田右丞率以為常天正十年六
月二日右丞遭弑是歲正月朔旦遵例獻水
至城見之其桶無漏處而水無一滴觀者怪

焉果是示凶也十二年三月此城亦陷遂為
舊墟其後堂閣頽破無由補理時有質方者
抱持尊像移之於正覺寺中其後我

先君瑞龍公坐橫須賀行殿一詣此寺辱拜
尊像爾來信心男女叅詣接踵然年代久遠
恐湮滅圖知故書其梗槩以傳于後世云爾

省

明和龍集己丑八月

張藩書室監 君山松平秀雲七十三歳探筆於吏隱亭
とありけ長命水の南付田子屋の北に留る
やうな民家の中口にあたりて甚る泉也と
境目に秋葉堂もあり

秀傳寺

平針村よりして祥雲山といふ南郡後河村龍
谷寺より有り創建年月不明なりと云ふ十七年
再興なりと云ふ本堂釋迦佛と安土の境目に

観音堂一字あり

龍淵寺

赤池村よりして蟠住山といふ同郡高橋村妙
仙寺に由来なり天正年中ふ南郡に城を丹波
常久秀信創建よりといふ本堂釈迦佛と
安土の境内に秋葉堂一字あり

靈鷲院

同村よりして久志山といふ春日井郡三洲村

正眼寺末より四々大森村なる業澤堂
六ふらうのたう喜保十五年二月創建
今れ名とす

寶泉寺

折戸村よりあうく竹瀝山より小岩崎村妙仙
寺末より天文四年當石れ城より丹羽和泉
守源氏從これと創建と木佛坐像に銀香
と安座と境内より陸守社石地蔵とあり

又丹羽和泉守氏從右近大吏氏誠曰次郎
三郎氏重曰右近大吏氏勝曰幼助氏次等
位牌も尚寺よりあり

清安寺

法橋村よりあうく道休山より小岩崎村妙仙
寺末より天文三甲午年岩崎村に佛あり
丹羽右近大吏氏誠これと創建と本堂新
迦如来に本像と安座と文殊菩薩を銀侍

と丹羽氏誠に位牌あり

龍谷寺

友島村よりわたり雲興山より冬河田加茂
郡藤原村永澤寺に末より創建より
らすともとも永正元年心月和尚再建す
より中興に因担より本堂釈迦佛と安立
く河津陀鉢勒と招待に境内に衆寮地
藏堂観音堂鐘樓堂鎮守社あり

本亮院

米之木村よりわたり竹波山より友島村新
谷寺に末より創建年月記なきに久
嚴山昌林寺よりとて天明三年今に名
より十一面観音を安立に境内より三十三所
観音より金毘羅堂あり

薬師寺

田村よりわたり友島村新谷寺に末也創建年

月よりれど業師佛と安立十二神将を
服侍と云境内に天王社あり

妙徳寺

岩崎村よりく大椿山より播磨国加藤
郡山國村妙仙寺よりあり明徳六己年當
所に城を丹羽若狭守氏清創建とて米風
和尚開祖とて新迦也名を本寺と云法守白
山社院にあり又塔頭一ありありなり

慈眼庵

地藏菩薩と本尊と云當所

長二己年僧譽春開基創建と云
堂法守秋系結あり丹羽家歴世の菩提
寺と云墓所及古位牌あり並當寺あり
あり

前熊寺

前熊村よりく天申山より後河村沈谷寺
の末より寛永十二年庚八月僧満願并具建

まゝに新迦佛の本尊とす

昌隆寺

日村よりわたりて某王山より不日郡岩尾村安

昌寺に末より創建年月志しれど僧秀傳と

中興同祖と云業師也末と安延平に業師

りしに別地よりわたりと傳ふるなりとす

永見寺

大草村よりわたりて水福山より不春日井郡白

坂雲具寺より局り創建年月志しし一舊
古條海浜より一寛文七丁未年改て曹
洞浜より一假舎に地蔵尊と安延平
大禦地蔵

仙壽寺

美津村よりわたりて福祿山より不白坂に雲具寺

に末より創建年月志しれど本堂銘尊と安

延平に舊に源海浜より一寛文七丁未年改

て曹洞派とす

寶生寺

本化村よりく佛法山より白坂雲興寺に
属す創建年月不知れ寛永九申年再生人
之村の南村八所化よりありしとき享保五年
今此地よりとも本堂坐像観音と安坐人衆
寮立像観音庚申阿弥陀をとり安坐人南寺
境内に山林小旗塚ありしあり

安昌寺

岩化村にありて久嶽山より白坂雲興寺に
属す創建年月詳不知天正十二年乙酉
九月丹羽勘助氏次新田化と寺消して再興
と傳ふと寺説及府志に天正十二年丹羽勘助
氏次創建之とあり據し下り載る氏次
此寺附地とあり南寺れありしありあり
く由成とあり天正再興の同基ハ雲山和尚也
本佛坐像の形迹とありし同山堂観音堂

禪堂鐘樓堂よりり慶正法菴慶良心菴
に如きの馬頭観音庚申像よりり尚寺よりり
又什物よりり寛永三年丙戌四月福留よりり
親茂に寄附りり沙床机石沼寺首塚銘一軸
同四年丁亥九月尚寺二世僧翠峯著述り
長久寺征伐記一軸同六年己丑二月赤林四郎右
衛門信柳、寄附りり長久寺由事記一軸正徳三年
癸巳十二月於本新在馬將番、寄附りり長久寺如法

一軸享保三年戊戌六月尚寺、僧宗殿撰述り
長久寺征伐記明和九年壬辰年人見流為來赤
林源寺、寄附りり湫岐記よりり又丹羽
氏次の寄附状よりり

天正拾一年癸未よりり林漫園方よりり山内安田島
寺願本、悉よりり沙額新懸、今度我本の新寄
在田北拾費又目よりり小泉寺、右よりり方悉よりり
安昌寺よりり寄進者や、けよりり存よりり未代よりり遺

此也仍寄在狀如件

丁酉十二月 乙酉九月廿五日

丹波守

氏次 花押

是化 安昌寺 雲山 和号 結目

とあり

妙潤寺

野方村よりありて龍蟠山よりいふ是野村妙徳寺の
事あり天正元癸酉年創建して本堂地蔵菩薩
像と安昌寺境内より庚申堂新寺堂よりあり

わり

寶珠寺

梅森村よりありて梅森山よりいふ是野村妙徳寺
末なり天正七己卯年恭公僧尼基創建して
新加め本と安昌寺境内より法号白山社庚申堂
ありあり

了玄院

梅森村よりありて田中山よりいふ春日井那大永

寺村大永寺、属の創建年月の事、
されども文明六年にみまうり、
玄菴道了禪
定門の中具、開基の事、此道了の人、
一十一面観音と安置と、法守待り

神藏寺

一色村より、新善山より、冬河國加茂郡
矢並村醫王寺末也、創建年月の事、
柴田源六勝重、在り、雲岫麟棟

和尚と招請し、相議、尚寺と創建す、
其勝重、文亀三年癸亥七月二日、みまうり、由
寺記より、此人、柴田源六勝重の祖先
より、客殿観世音菩薩と安置と、境内に
柴田源一より

全久寺

植田村より、福田山より、鳴海瑞泉寺末
より、文治年中、横地太直、在り、延建より

とくはるく新迦佛と申すは境内秋葉社
あり尚寺末光谷山山野寺とありしが
是れ長年中廢寺とありて尚寺これと付
こゝの横北氏曆世位牌とありて梶田七郎忠家
肖像記文あり

佛地院

八事村より河を陶金山と名古屋永林寺
とあり創建年月とありて宇基人志とありて
下の

源海流ありしが曹洞派とあり年月も
詳しは僧日照と中興祖とありて熱田に
全隆寺ありとありて更へ明和三年戊子月永
林寺に属とありて新迦めとありて法也
神祐とあり又写本の大般若經二百卷許あり
嘉禄文永の年月あり

寶珠院

伊勢村より福聚山より法念石村龍興

寺に未^うり^り 寛永年中創建此地は善徳と
安^あき^きと^と 庚申堂あり

松林寺

丸山村よりありて萬行山といふ山にありて
寺に未^うり^り 長六年創建此寺は
本号あり

桃巖寺

末森村よりありて仙山といふ山にありて
白坂雲興寺

未^うり^り 天文年中南にありて織田武藏守
信行の父信俊の信秀の法名と前備州大守
枇杷岩道
創建あり信秀の法名と前備州大守
枇杷岩道
見大禪定門ありて
當寺といふ
及柴田御家の位牌あり
今此地よりあり

月心寺

松嶽山といふ春日井郡大
松子石村よりありて

永寺村大永寺にあり創建年月を以て本
堂に阿弥陀如来を安置し法身白山社あり

光正院

古井村にあり玉龍山といふ名所妙心寺に

あり永正十年創建といへば僧来風を以て

本堂釋迦佛を安置し又正観寺に安

置し地蔵堂禅堂稻荷社秋葉社あり

善久寺

田村にあり住龍山といふ同村光正院に

あり創建年月を以て僧一慶を以て

正観音を安置し観音堂禅堂白山社秋

葉社石佛に二十之新観音堂あり

菊泉寺

栗村にあり昌温山といふ名古く永安寺に

あり慶長二丁酉年僧交雲創建せり十一

面観音を安置し境内に秋葉堂地蔵堂観音

堂々々々

禪養寺

烏森村^{カスモリ}とありて天徳山とて熱田法持寺に
属り創建年月知らざりしが尚寺に伝承の由
觀音の厨子に記文に康暦二庚申年營造
之とありこれに單劍の康暦より以て推し
つていつか天文二年小舟より悦山慶
折監院禪師と云巻とて坐像に釈迦佛と安

置と境内に觀音堂鎮守白山社金毘羅社
秋葉社石像地藏堂石像俊小角
俗子行者と云
わり又

德雲院殿心月電光大童子君所并母堂
松林院殿墓左近衛權少將松平出雲守源
義昌君沖嫡男 伊知名志 延寶六年戊午
八月廿二日卒とありて尚寺に葬まはる松林
院殿の副田勘兵衛源秀朝女とて安享五年

戊辰六月八日
寛政十年正月

源明公より
未丑月

大童子君に
牌に厨子を
止の榜と
又南寺に
表門の副田

印齋の家門

光明院

岩塚村より
見陽山より
名古屋善為寺
今此地に
地藏菩薩像
と安坐して
禪堂秋系堂
あり

龍潭寺

野田村よりして留王山より海東郡桂
村廣濟寺に末より康正元年僧錦溪創
建して立像に釈迦佛を本尊として立像文殊
普賢と脇侍として茶師堂社紫雲法皇白山
社開山堂祿堂をとりて

空雲寺

中嶋新田よりして道鏡山より熱田法持
寺に末より延宝四年辰十二月僧空雲創立

春日井郡大畠村より善源寺より
慶寺ありて再興してあり創建の時に
瑞苑山といひて明和七年道鏡山に改む

日照寺

高畑村よりして高畠山より熱田令隆寺
に末より創建年月志しむと中興に因祖を
日照孤峯禪師といふ大日如來を安置し法
守社あり文化十年有三月よりとありて尼僧地

とらむ始祖南徑に梅溪あり

天年寺

熱田新田よりして松島山よりして河原郡指原
村玉泉寺に末より延享元甲子年久田比
左馬漏休創建と釈迦佛と安土に境内
秋葉堂あり

禪宗 黄蘗派

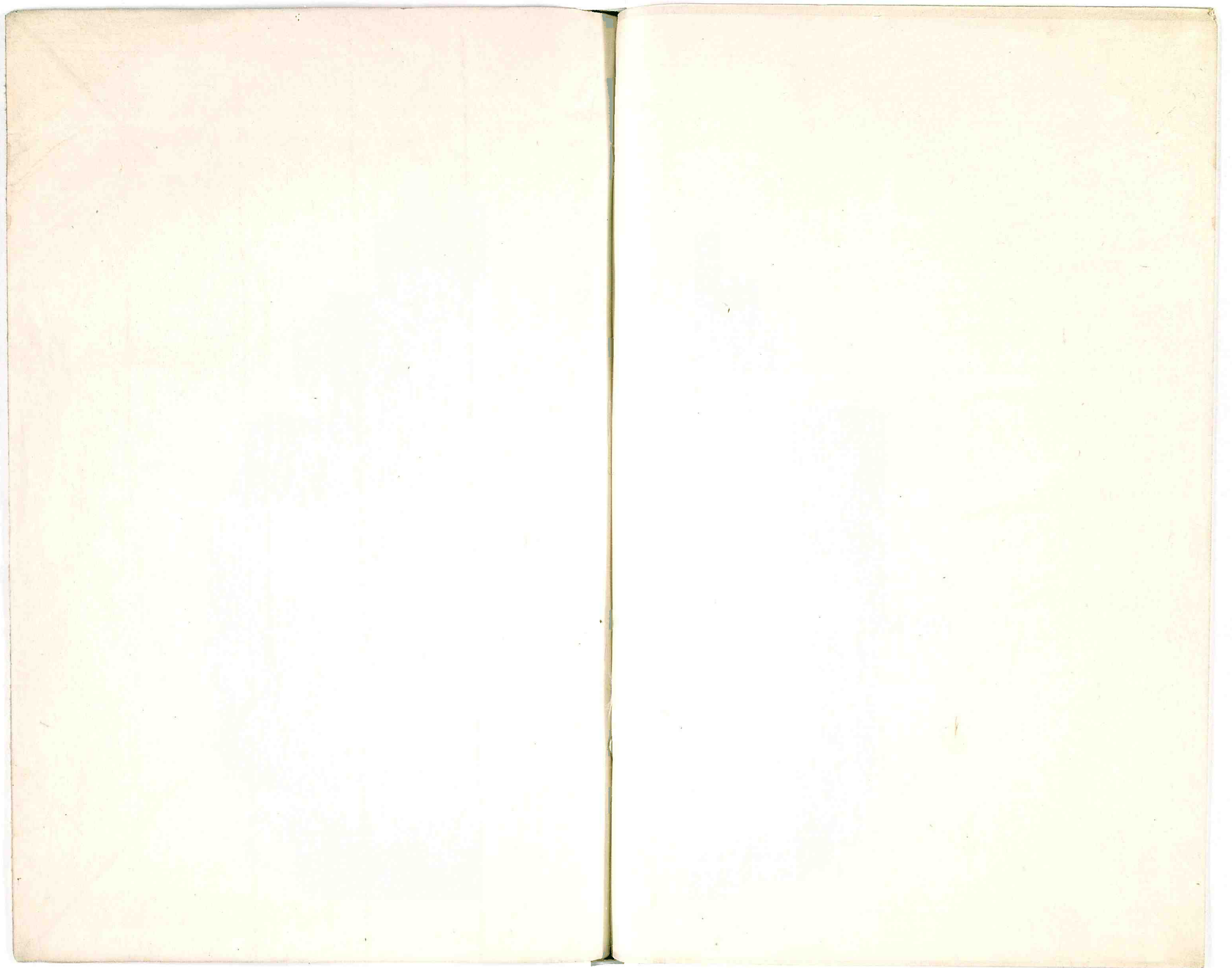
長福寺

梶子石村よりして紫磨山よりして山崎園宇治
萬福寺小庵あり四ヶ所ありと天和三
年癸亥二月智多郡常滑村湫木より慈眼
寺をけりよりして再興新造して今に名を
留基に傳へ名を千丈よりして本堂小千手觀音を
ありと鎮守に辨才天社あり

真聖寺

稻系北村よりして業王山より城州宇治の
前福寺よりなり享保十乙巳年熱田れ喜見
寺より吉祥坊より福より造立かく名
づけより本堂小業師木佛より安否より観音地
を根持より

小田切傳之丞忠近謹圖
小澤啟吉列根謹書



愛知県



1103286149